



第200期 中間報告書

(2023年4月1日～2023年9月30日)

証券コード：7951

デジタルサクセス[YDS-120]



ワイヤレスヘッドホン[YH-WL500]



フィンガードラムパッド[FGDP-50]



ヤマハ株式会社

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第200期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業の概要についてご報告申し上げます。

当中間期の売上収益は、エントリーモデルを中心にデジタルピアノの需要が引き続き軟調であったことや中国市場の市況回復の遅れなどから楽器の販売が伸び悩んだものの、法人向け音響機器の販売の回復に加え、為替の円安による影響もあり前年同期に対し16億円(0.7%)増加の2,196億円となりました。

事業利益は、楽器事業の売上減少と在庫削減のための生産調整などにより、前年同期に対し91億円(37.3%)減少の153億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、59億円(28.2%)減少の149億円となりました。

中間配当につきましては、11月1日開催の取締役会において、一株につき37円とすることを決定いたしました。

当社グループでは、中期経営計画「Make Waves 2.0」を昨年5月に発表し、ポストコロナの「新たな社会で持続的な成長力を高める」ことを基本方針として掲げ、さまざまな施策を進めてまいりました。中期経営計画2年目も不透明かつ厳しい外部環境が続いておりますが、「なくてはならない、個性輝く企業」になるという経営ビジョンの実現に向け、引き続き、基本方針に基づく各種テーマに取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2023年12月
代表執行役社長

中田卓也

中期経営計画「Make Waves 2.0」の取り組み

世界的な物価上昇や地政学リスクの高まり、急変する需要等、当社グループを取り巻く事業環境は依然、不透明かつ厳しい外部環境が続いております。そのような中でも、中期経営計画「Make Waves 2.0」で掲げた「新たな社会で持続的な成長力を高める」という基本方針に変更はなく、成長力を高めるための3つの方針である「事業基盤をより強くする」、「サステナビリティを価値の源泉に」、「ともに働く仲間の活力最大化」に基づき、各施策を着実に進めております。

- 「事業基盤をより強くする」では、アメリカのギターメーカー、コルドバ社の買収や部品・装置事業の車載オーディオシステムの採用拡大など、事業・製品のドメイン拡大がさらに進みました。また、デジタルマーケティングの活用や新たな顧客情報基盤「Yamaha Music ID」の導入により、お客さまともっとつながることで、世界中のより多くのお客さまに優れた顧客体験を提供しています。当社の強みであるAIを活用した合奏技術・歌声変換技術等、これまでにない価値・サービスを創出するための研究開発や取り組みにも挑戦しています。
- 「サステナビリティを価値の源泉に」では、“環境”については、持続可能性に配慮した木材使用率の向上やCO₂排出量の削減など、地球環境・資源保全に積極的に取り組んでいます。“社会”については、演奏のバリアフリーを目指し、さまざまな商品でユニバーサルデザインを取り入れています。“文化”については、新興国の器楽教育の普及を目的とした「スクールプロジェクト」が、計画を大幅に上回るペースで進捗し、音楽文化の普及・発展による市場拡大に貢献しています。
- 「ともに働く仲間の活力最大化」では、全ての事業活動の源となる人材の活力を最大化すべく、グローバルでの従業員サーベイなども活用しながら、柔軟かつ多様な働き方を実現するための制度・仕組みの充実や人的投資の強化、さらには、多くの挑戦や共創が生まれる組織風土を醸成することで、一人一人の働きがいと働きやすさを高める取り組みを進めています。

Make Waves 2.0

基本方針：新たな社会で持続的な成長力を高める

方針1
事業基盤をより強くする

方針2
サステナビリティを価値の源泉に

方針3
ともに働く仲間の活力最大化

第200期（2024年3月期）通期業績予想について

中国市場における市況の回復遅れ、それに伴う減産による工場損益の悪化などを織り込み、売上収益、事業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益を下方修正いたしました。2024年3月期の通期業績予想は、8月2日に公表した売上収益4,700億円（前期比4.1%増）、事業利益500億円（前期比9.0%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益385億円（前期比0.8%増）を売上収益4,650億円（前期比3.0%増）、事業利益420億円（前期比8.4%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益345億円（前期比9.6%減）に修正いたしました。なお、業績予想における第3四半期以降の想定為替レートは、対USドル140円、対ユーロ150円です。

各事業の状況（連結）

当中間期の業績は、前年同期に対し増収・事業利益の減少となりました。各事業の状況は以下のとおりです。

楽器事業

【売上収益】1,482億円(前年同期比 1.2%減) 【事業利益】130億円(前年同期比 36.8%減)

アコースティックピアノは、中国での販売不振が響き減収となりました。電子楽器は、エントリーモデルの需要減が続き減収となりました。一方で、管弦打楽器は、北米での好調継続に加え、日本、欧州での需要回復などにより売上げを伸ばし増収となりました。



音響機器事業

【売上収益】527億円(前年同期比 11.0%増) 【事業利益】7億円(前年同期比 45.0%増)

個人向け事業は、市況の低迷が継続し減収となりました。法人向け事業は、業務用音響機器の需要回復と新商品効果により大幅な増収となりました。



部品・装置、その他の事業

【売上収益】187億円(前年同期比 8.5%減) 【事業利益】17億円(前年同期比 51.1%減)

電子デバイスは増収となり、FA機器、ゴルフ用品は減収となりました。



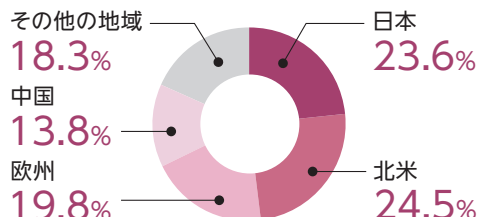
事業別売上収益構成比率

当第2四半期連結累計期間の売上収益に基づく事業別構成比率は以下のとおりです。



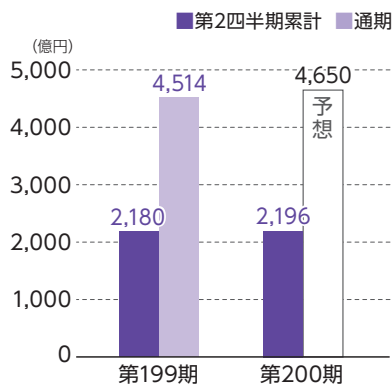
地域別売上収益構成比率

当第2四半期連結累計期間の売上収益に基づく地域別構成比率は以下のとおりです。

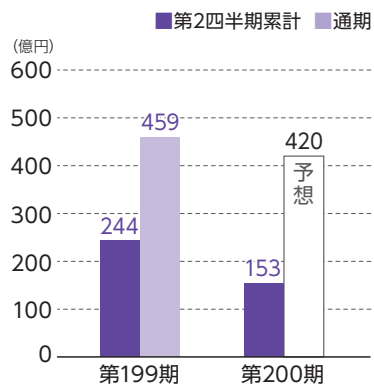


連結財務データ

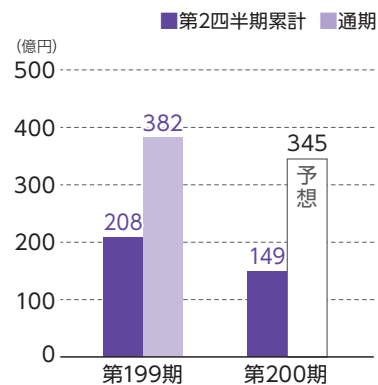
[売上収益]



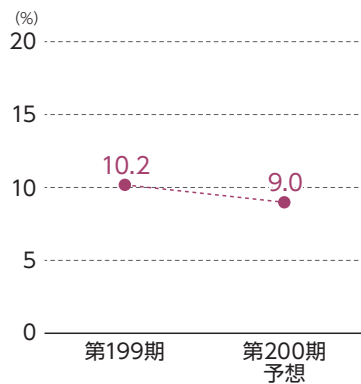
[事業利益]



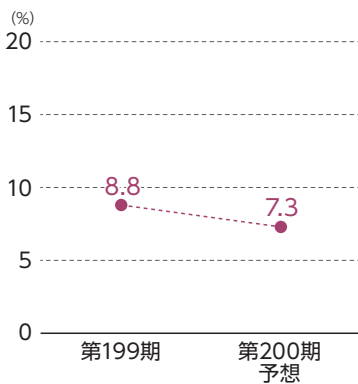
[親会社の所有者に帰属する 四半期利益／当期利益]



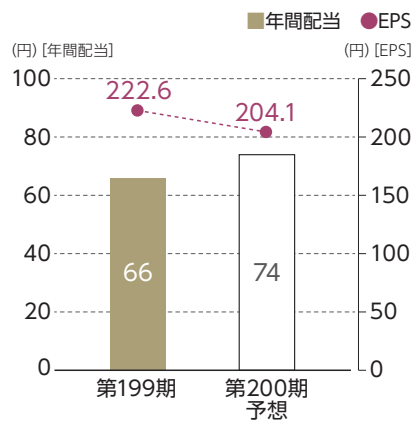
[事業利益率]



[ROE (親会社所有者帰属持分 当期利益率)]



[年間配当 ／EPS (1株当たり当期利益)]



▶ 財務情報等の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。

<https://www.yamaha.com/ja/ir/>



トピックス

音楽・楽器の楽しさを世界中の子どもたちに —インドとマレーシアの公立小学校に器楽学習の機会を提供—

公教育における音楽と楽器を使った活動の普及を目指した取り組みである「スクールプロジェクト」の一環として、インド・デリーでは2023年4月より、リコーダーを使った音楽教育を正規授業として展開し、マレーシアでは2023年8月より、キーボードを活用した音楽教育の試験導入に協力しています。今後も、音楽・器楽を通じた教育による子どもたちの非認知能力の育成、そして各国の教育事情に寄り添った音楽の普及活動におけるビジネスモデルの策定を目指します。



インド・デリーの公立小学校での授業の様子

マレーシアでの教員研修の様子



▶詳しくはスクールプロジェクト
特集ページに掲載しております。

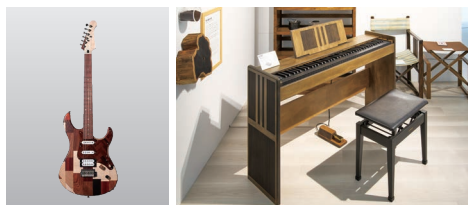
https://www.yamaha.com/ja/about/initiatives/school_project/



楽器に使用する木材のサステナビリティを考える

—ヤマハ銀座店、イノベーションロードにて特別展を開催—

楽器づくりで発生する未利用材を活用したギター、キーボードなどの試作品を体験いただける展示として、ヤマハ銀座店「楽器の木」展や企業ミュージアム イノベーションロード特別展「オトのかけ算」を開催しています。展示する「アップサイクリングギター」は、木材を厳選し加工する過程で発生し、楽器づくりに使用されなかった材料や端材で作られたエレキギターです。材料の希少性に頼らず、楽器自体の価値を高める研究の一環で生まれました。



アップサイクリングギター

サステナブルキーボード



▶企業ミュージアム イノベーションロード
特別展「オトのかけ算」

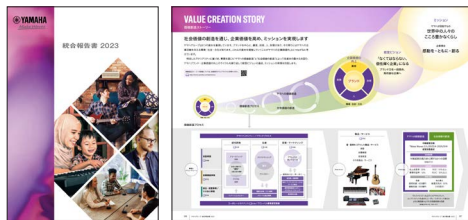
<https://www.yamaha.com/ja/about/innovation/information/2023/00044/>



ヤマハグループ 統合報告書2023を発行

「統合報告書2023」は、2022年4月からスタートした中期経営計画「Make Waves 2.0」の1年目の進捗状況をお伝えするとともに、世界中の人々のこころ豊かなくらしの実現に向けて、これまでヤマハグループが培ってきた技術や強みを生かしてどのように社会価値を創造していくのか、具体的な取り組みを通じて説明しています。

「年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) の運用機関が選定する「優れた統合報告書」に、ヤマハグループ統合報告書は連続して選ばれています。



▶「ヤマハグループ統合報告書2023」の
全文は当社ウェブサイトに掲載しております。

<https://www.yamaha.com/ja/ir/publications/>



❗ 重要なお知らせ

株主総会資料の提供が電子化されました

当社は、2023年の定時株主総会から株主総会資料の株主様への提供を、原則として郵送ではなく電子提供により行っています。

株主総会の日時及び場所、株主総会の目的事項等を記載した招集ご通知をお送りしますが、これに計算書類、事業報告等を加えた書面の郵送をご希望される株主様は、**2024年3月31日までに書面交付請求手続きを行ってください。**

※既にお手続き済みの株主様は、改めて書面交付請求手続きをしていただく必要はありません。

Q 書面交付請求はどのように行えばよいですか？

A 以下のいずれかのお手続きをお願いします。

- ①口座を開設された証券会社にお問い合わせいただき、証券会社の定める方法によるお手続き。
- ②当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行にご連絡いただき、必要な書類を三井住友信託銀行にご提出いただくことによるお手続き。

※当社の証券コード「7951」と、株主様の株主番号(9桁)をお伝えください。

[書面交付請求についてのお問い合わせ先]

三井住友信託銀行株式会社



0120-533-600 平日 9:00 - 17:00

▶ 電子提供制度についてのご案内

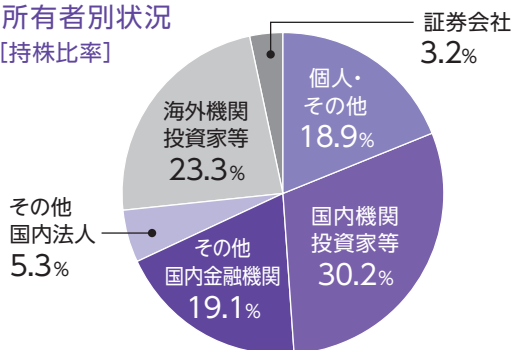
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式の総数	187,300,000株 (自己株式18,511,463株を含む。)
株主数	33,662名

所有者別状況 [持株比率]



(注)「個人・その他」には自己株式が含まれております。

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (對自己株式控除)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	38,430	22.77%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	14,046	8.32%
ヤマハ発動機株式会社	8,026	4.76%
株式会社静岡銀行	7,525	4.46%
住友生命保険相互会社	7,300	4.32%
三井住友海上火災保険株式会社	5,917	3.51%
日本生命保険相互会社	5,002	2.96%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	3,204	1.90%
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	3,002	1.78%
株式会社みずほ銀行	2,958	1.75%

(注)当社は、自己株式18,511,463株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は、所有株式数を自己株式を除いた発行済株式の総数で除しております。

役員 (2023年9月30日現在)

取締役

取締役	中田 卓也
取締役	山畑 聡
社外取締役	日高 祥博
社外取締役	藤塚 主夫
社外取締役	ポール・キャンドランド
社外取締役	篠原 弘道
社外取締役	吉澤 尚子
社外取締役	江幡 奈歩

執行役

代表執行役社長	中田 卓也
常務執行役	山畑 聡
常務執行役	山口 静一
執行役	山浦 敦
執行役	押木 正人

株主メモ

事業年度	4月1日から 翌年3月31日まで	定時株主総会 期末配当の基準日	6月 3月31日
定時株主総会の 基準日	3月31日	中間配当の基準日 単元株式数	9月30日 100株

公告の方法 電子公告 [https://www.yamaha.com/ja/]

株主名簿管理人・

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式事務の

お問い合わせ先

株式事務の内容により、証券会社または三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株式事務の内容	住所変更 ・配当金受取方法の変更 ・単元未満株式の買取請求 ・株主総会資料の書面交付請求* *下記いずれも可	未払い配当金の 支払い
口座を開設 されている場合	口座を開設された 証券会社	三井住友信託銀行 株式会社
株式が特別口座に ある場合	三井住友信託銀行 株式会社	三井住友信託銀行 株式会社

三井住友信託銀行株式会社のお問い合わせ先

 0120-782-031 平日9:00-17:00



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号

Tel: 053(460)2800 Fax: 053(460)2802
URL: https://www.yamaha.com/ja/

